

## 平成29年 第2回JSR編集委員会 議事録

日時：平成29年7月14日(金)8:00~9:30

会場：TKP 新宿カンファレンスセンター ミーティングルーム5A

出席：中村博亮(理事)、川口善治(委員長)、青田洋一、江幡重人、寒竹 司、二階堂琢也、  
長谷 斉、長谷川和宏、福岡宗良、平林 茂(アドバイザー) (以上、10名)

陪席：CBR 三輪氏、JSR 編集分室 尾島氏、JSSR 事務局 鈴木めぐみ

### 議題1 『JSR』第9巻広告申込の件

川口委員長が、9巻の広告について現状の申し込み状況一覧を提示し報告した。今年は例年より早めになるが、7月中に分担を決め、各委員から企業へ声掛けを行いたいと提案した。一同賛同し、分担は川口委員長に一任された。表2~4および表3対向については、川口委員長が担当することになった。

また、新規で声掛け可能な企業があればお願いしたいと依頼し、一同承知した。

### 議題2 『JSR』審査状況の件

川口委員長が、7月1日現在の審査状況リストを説明した。8-9号掲載予定が21編、9-1号もすでに8編の予定があり、現状掲載数や投稿数に不足があるかと編集分室の尾島氏に問い、尾島氏が十分であると回答した。

### 議題3 『JSR』第8巻の進行の件

川口委員長が、8巻の9号では長谷川委員の提案で成人脊柱変形号としたが、来年の9巻9号をどうするかについては未定であるとして意見を求めた。

川口委員長：来年も成人脊柱変形号とすることはできないか。

長谷川委員：今年については成人脊柱変形学会の会長を自身が行ったので、声掛けを行えた。次回についても声掛けは可能だが、続くと他の150万円の分担金を払っている学会との間で問題になる。ほかに小さめの学会や研究会で雑誌を持っていない団体の会長を、編集委員等が務めた際に依頼してはどうか。次回の成人脊柱変形学会は岡山の田中先生が会長である。

長谷川委員：一つの学会ではなく、複数の小規模学会の論文を集めれば150万円の分担金も支払えないか。例えば3つの学会が3等分で50万円ずつ負担するなど。

中村理事：依頼する団体は決めず、今回のように疾患等のテーマを決めた号としてはどうか。

長谷川委員：各地方の学会や研究会への声掛けはどうか。

以上のような議論があり、いったん地方会や研究会の情報を川口委員長に集めることになった。

#### 議題4．学会誌要不要調査の項目変更の件

毎年行われている学会誌要不要調査について、抄録集(3号)のみを希望する会員が多いため、「紙媒体学会誌 要 不要」の2種のみだった選択項目に、「抄録集のみ要」を追加することについて議論した。

中村理事が、調査用紙について「変更届」ではなく「希望届」とする案を示し、上記3項目とともに一同承認した。

平林アドバイザーが、CBR社との契約としては問題ないかと質問し、CBR三輪氏が学会の意向に沿うので、調査結果を反映させた部数の変更等は問題ないと回答した。

二階堂委員が、刷部数が削減されれば広告費も下げる必要があるかと質問した。川口委員長が、広告の金額はどのように決められているかと質問し、事務局が以前から定額になっているのでどのように決めていたのかは不明と回答した。

川口委員長が、部数減によって、発送費は確実に削減できると意見を述べた。

長谷委員が、日整会雑誌のような「総目次号」があると便利と意見を述べた。

川口委員長が、すでに『JSR』はWEB化を済ませているが、若い会員は紙ではなくアプリやWEBで雑誌を読む習慣があるので、最終的には紙媒体をすべてなくす方向でステップを踏んでいくことになるだろうと展望を示した。

長谷川委員が、WEBに『JSR』が掲載されるのは、紙媒体の雑誌が出てからどのくらいかと質問し、CBR三輪氏が2週間程度と回答した。

長谷委員が、現状でも広告を集めにくくなってきているが、紙媒体の雑誌がなくなったときに、広告を集められるか不安があると意見を述べた。

長谷川委員が、企業にとっては広告の条件が悪くなら、即中止にしたいところだろうと意見を述べた。

#### 議題5 その他

川口委員長が、次回の委員会日程について、雑誌の要不要調査の結果を見てからにしたいと提案したが、要不要調査は例年11月末まで行っているため、1月の日整会専門医試験での理事会と合わせて開催すべきかと発言した。

事務局鈴木が、11月に腰痛学会が品川で開催されるが、要不要調査を1か月前倒しして、10月下旬までにすれば、調査結果を検討する会議を11月に行えるのではないかと提案した。

一同検討の結果、要不要調査を1か月前倒しすることと、11月の腰痛学会時に品川で会議を行うことに同意した。

##### ・次回委員会開催日程の件

今回は、11月3日または4日 品川駅(同日程での日本腰痛学会開催中)周辺にて

以上